



岡崎市立城北中学校 校長通信

校長室の窓から

～校訓 真面目 精一杯 自主自律～

1号

令和5年4月10日

城北中学校長
山本 則夫

校長室の窓からは、子供たちの真剣なまなざしで学ぶ姿、仲間と共に部活動に励む姿を見ることができます。

この4月から城北中学校の校長として赴任しました山本則夫です。昨年度までは、岡崎市教育委員会に勤務しておりました。校訓「真面目・精一杯 自主・自律」にあるように、どんなことにも常に真面目に取り組み、精一杯、自らの力で最後までやり遂げる子供を育てていきたいと思えます。

不定期ではありますが、生徒の様子や学校の取り組みなどを、校長通信「校長室の窓から」でお伝えしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



【入学式 校長式辞】

1年生の皆さん入学おめでとう。「ウサギとカメ」の話は知っていますね。競争の途中でウサギは油断して昼寝をしてしまい、カメは、その間にウサギを追い抜いて勝利した。というお話です。今日は生きたウサギとカメを持ってきました。どうしてカメはウサギに勝ったのか。いろいろな解釈があります。今日は、その一つを紹介します。

カメが勝った理由は、端的に言えば、ウサギとカメでは、「見ているところが違った」からです。ウサギは何を見ていたのか。ウサギはカメを見ていました。だから、ノロノロとやってこないカメに、油断をしてしまったのです。一方、カメは何を見ていたのか。カメはゴールを見ていたんです。もし、カメがウサギを見ていたら、昼寝をしているウサギを見て、自分も休んでしまったかもしれません。ところが、カメはそうしなかった。ゴールだけを見て歩み続けました。

この解釈が、言わんとしているところは、ゴールは何かをしっかりと見極め、まわりに惑わされることなく、目標を定めることの大切さです。カメはゴールを見ていたからこそ、足の速いウサギに勝利しました。「見ているところが違った」このことが、この結果につながったのです。

皆さんもこの中学校生活で自分のめざすゴールをしっかりと見極めてください。勉強、部活動、特技なんでもいいです。他人や、周囲ばかりに気をとられ、本当のゴールを見失えばウサギ同様、結果を期待することはできません。そして、一つの目標が達成されたらすぐに次の目標を立て、それぞれのスピードで、こつこつ努力して行ってください。

保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これから始まる三年間の中学校生活の中で子供たちは、心も体も大きく成長します。しかし、時には迷ったり、悩んだり、壁にぶつかることもあるかと思えます。そんなとき、私たち教職員一同、力を合わせ、最大の愛情を注いで、子供たちの教育に当たる所存でございます。

笑顔で「いってらっしゃい」と子供を送り出してください。明るく「ただいま」と、帰ってくる子供たちを私たちは育てていきます。どうぞ、本校の教育に御理解と御協力をお願いします。

本日、ご多用の中、PTA会長 永山様、岡崎市議会議員 築瀬様、磯部様、をはじめ、多くのご来賓の皆様のお出席、誠にありがとうございます。本校生徒の「明るい笑顔」、「純粋な心」、「澄んだ瞳」は地域の宝です。これまで同様、子供たちの健全育成に御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。